

令和3年度修了生



大学院での2年間は、授業づくりや学級経営・生徒指導について深く学ぶ貴重な時間でした。特に、1年半同じ学校で継続的に実習を経験できたことで、授業の組み立てや生徒との関わり方を「理論と実践の往還」により、より実践的な学修ができました。(佐伯市立鶴谷中学校 教諭 柚木 彩)

令和5年度修了生



教職大学院での2年間は、学校経営の視点を養う大変貴重な機会でした。特に、自分の学校を客観的に捉える力を培い、現場での判断や職員との関わり方に大きな影響を与えました。修了後に教頭として「閉校」という大きな課題に直面した際には、「閉校」を「学校経営のツボ」として捉え、教職員や地域と共に積極的に取り組むことができたと思います。今後もよりよい学校経営を目指して実践を積み重ねていきたいと考えています。(国東市教育委員会学校教育課 主幹(指導主事) 能武 伸宏)

令和5年度修了生



大学院では、特別支援教育分野を中心に学びながら、学校経営分野の授業も履修し、「地域連携」や「校内研究」の在り方について理解を深めました。管理職を目指す現職院生とともに学ぶ機会は、自身の視野を広げる貴重な経験となりました。修了後も、研究主任として校内研究を企画するなど、大学院での学びを活かすことができている。在学中の「学習者の対話活動」をテーマとした研究では、他県の視覚障害特別支援学校と遠隔合同授業を行いました。現在も連携が続いています。(大分県立盲学校 教諭 末永 多香光)

4 教職大学院に関するQ&A

Q 教職大学院では、どのような免許が取得できますか。

A 1種免許状を取得している校種について、当該専修免許状に必要な単位(24単位以上)を修得して本研究科を修了すれば、専修免許状が取得できます。

取得できる免許状の種類

幼稚園教諭専修免許状、小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状、高等学校教諭専修免許状、特別支援学校教諭専修免許状(領域:知的障害者、肢体不自由者、病弱者)

※ 取得している2種免許状については、本研究科を修了しても専修免許状にはなりません。ただし、当該専修免許状に必要な単位を修得して本研究科を修了後、さらに必要な単位を加えて1種免許状を取得した場合は、教育委員会に申請して専修免許状を取得することができます。

Q 学卒院生の修了後の就職状況はどうでしょうか。

A 平成28年度の教職大学院開設以来、教員就職率は100%です。
校種は、小学校27名、中学校14名、高等学校7名、特別支援学校3名です。(令和7年4月現在)

Q 特別支援教育について学びたいと思いますが、それは可能ですか。

A 特別支援学校教諭をめざしている方や特別支援学校・特別支援学級の現職教員の方はもちろん学べますが、幼稚園、小学校、中学校、高等学校教員をめざしている方や現職教員の方が、例えば、「インクルーシブ教育」や「校内や地域における特別支援教育コーディネーターの役割」などについて学ぶことも可能です。

.....進学に関するお問い合わせ先.....

募集定員20名(うち3割程度は現職教員等を含む)

〒870-1192 大分県大分市大字旦野原700番地

大分大学教育学部学務係

TEL: 097-554-7511 FAX: 097-554-6272

E-mail: kyogakum@oita-u.ac.jp

URL: <https://www.ed.oita-u.ac.jp/inn/>



個別相談フォームは
こちらから

大分大学大学院 教育学研究科 (教職大学院)

大分大学教職大学院は、学部教育で培われた基本的知識と教育的指導力及び学校教育現場における経験を通して蓄積した教育者としての資質能力を、教職大学院で学修する教育理論を基盤とする高度な教育実践力にまで高めた学校教員を輩出することで、地域の教育が抱える課題の解決と将来の学校教育の発展に寄与し、そのために、「新しい学校づくりにおいて指導的役割を果たし得るスクールリーダー」や「新しい学びや多様な教育課題に対応し得る実践的指導力をもった教員」を養成することを目的としています。

4つの分野でプロフェッショナルを育成

授業開発
教科教育

授業開発力・
実践的指導力の向上

生徒指導
学級経営

生徒指導・学級経営力の
向上

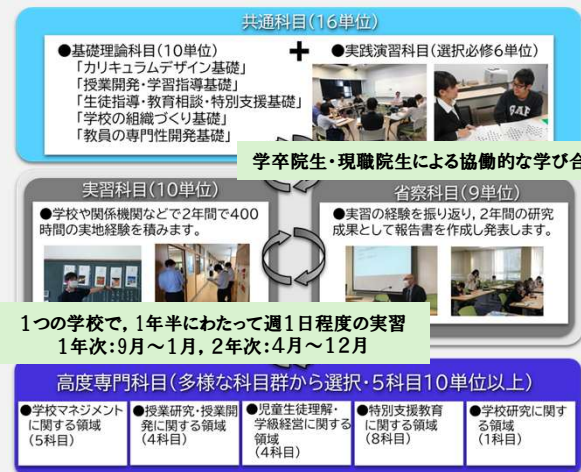
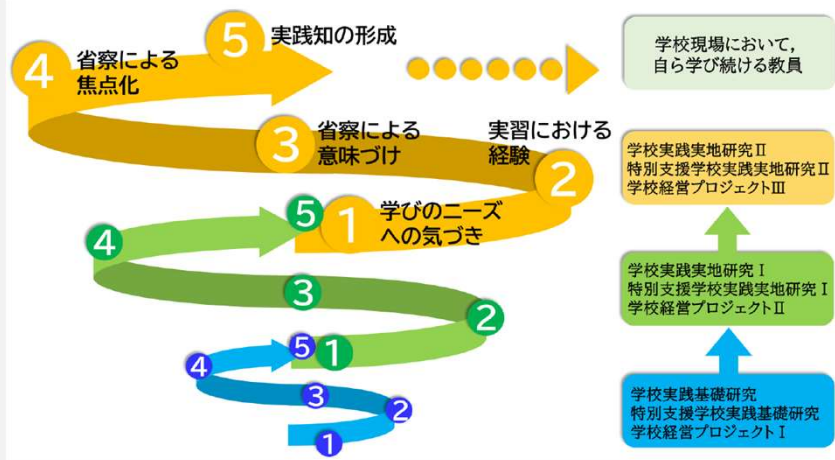
特別支援
教育

特別支援教育に関する
専門性の向上

学校経営

学校管理職としてリーダー
シップを発揮する教員の養成





キャリアステージに応じた学び

新しい学校づくりに際して指導的役割を果たす
スクールリーダー

◆ 管理職養成プログラム

学校経営、学校間連携、地域連携など

◆ 中堅教員履修プログラム

カリキュラムデザイン、生徒指導・教育相談、特別支援教育など

新しい学びや多様な教育課題に対応し得る
実践的指導力をもった教員

◆ 学卒院生履修プログラム

学級経営、授業開発、教科教育、特別支援教育など

充実の
指導体制

◇ 教職大学院専任教員

- ▶ 豊富な実践経験に基づく 実務家教員の 支援・指導
- ▶ 最新の学問的知見に基づく 研究者教員の 支援・指導

◇ 兼任教員

- ▶ 多岐にわたる分野のプロフェッショナルが揃う教育学部教員、附属教育実践総合センター教員
- ▶ 大学学部での研究や学修も継続可能

おすすめのメッセージ

昨今の教員不足で大変な状況にある学校現場は、多くの学生に対して大学学部で教員免許を取得したらすぐに教員になってもらいたい!と思っているかもしれません。ところが豊かな教育実践を行うためには、学部4年間に留まらず、さらなる学びの経験が不可欠です。教職大学院での学びの経験は、あなたにとって、そしてこれから出会う子どもたちの幸せの実現にとって、とても大切なものになるでしょう。

教育学部 長谷川 祐介先生

正解のない教育の世界では、教師自身が自らの実践から学び、省察を通じて理論を生み出していくことが不可欠です。教職大学院の学びは実践と一体となっており、学生本人にとってだけでなく、学校現場や子どもたちにとっても非常に価値のあるものです。ぜひ、仲間とともに、これからの教育を創る楽しさを体験していただきたいと思います。

附属教育実践総合センター 前田 菜摘先生



2 進学のメリット

① 令和7年度新規採用者から奨学金返還全額免除

* 日本学生支援機構第一種奨学金

② 教員採用試験合格→大学院修了まで採用猶予

③ 教員採用試験1次試験免除→教職大学院修了(予定)者対象の特別選考

* ②、③とも大分県など多くの自治体で行われていますが、自治体によって制度が異なりますので、必ずご確認ください。

④ 大学院入試論述試験免除 ((1)～(3)のいずれかを満たす場合)

- * (1) 大分大学教育学部に在籍し、3年次末までの修得単位が100単位以上で、かつA(優)以上の評価の単位数が総修得単位数の7割以上
- (2) 大学に在籍し、3年次末までの修得単位が100単位以上で、かつA(優)以上の評価の単位数が総修得単位数の7割以上
- (3) 教採合格者(公立学校教員採用試験の最終試験に合格し、採用候補者名簿登載期間の延長を申請した者又は申請予定の者)

⑤ 教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の利用が可能

- * 本学の教職開発専攻は「専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座」として指定されました。(指定期間:令和7年4月1日～令和10年3月31日の3年間)
- * 教育訓練給付制度とは、働く方々の主体的な能力開発やキャリア形成を支援し、雇用の安定と就職の促進を図ることを目的として、厚生労働大臣が指定する教育訓練を修了した際に、受講費用の一部が支給されるものです。(制度の詳細は厚生労働省HPでご確認ください)

3 修了生の声

令和6年度修了生



大学院での2年間では、授業や実習等を通じて学級経営や防災・減災教育の重要性を実感し、理論と実践を往還しながら指導力を高めることの大切さを学びました。大学院や実習校の先生方、他の院生、実習校の子どもたちとの関わりを重ねることで成長できる本教職大学院進学は絶対にお得です。(本学教育学部卒院生)

令和6年度修了生



大学院での学びを通じ、生徒の考えを理解し、授業に生かすことの難しさを実感しました。理論と実践を往還しながら、試行錯誤を重ねることで成長できました。対話による深い学びを重視する大分大学教職大学院への進学をぜひお勧めします。(本学他学部卒院生)

令和6年度修了生



大学院での2年間は、学校経営理論や「教員の専門性開発基礎」等の授業を通して、全体を俯瞰して組織をまとめるための方策や様々な学校資源の効果的な活用といった、学校経営上大切な視点を学ぶことができました。特に、児童相談所等でのフィールドワークの経験は、様々な子どもを取り巻く課題を、自分事として考えられるようになり、充実した時間でした。(現職院生)